

一般社団法人飯田青年会議所 広報誌



未来 12月号
2018.12
vol.58 No.656

未来

編集責任者：事務局長 久保田淳子
一般社団法人飯田青年会議所
長野県飯田市常盤町41番地
TEL. (0265) 23-7875
FAX. (0265) 23-7872
E-mail: info@iidajc.com
URL http://www.iidajc.com

2018年度
スローガン **keep on going**

溢れる希望を確かな未来へ 青年らしく突き進め

11月例会



全国大会 宮崎大会



10月例会



青少年育成プロジェクトまとめ会議



となりました。来年の開催に向けて、南信州青少年育成プロジェクトが一丸となって活動していく為にとっても良い機会とすることができました。

11月例会

ふるさと南信州委員会
新会員 久保田大樹



当例会は11月2日(金)に、ふるさは南信州委員会のもとで例会として行われ、「南信州に恋した2018〜ふるさとの恋は人から人へ〜」をテーマに開催しました。

本年度ふるさは南信州委員会ではまちづくり事業を担当し、南信州の魅力を知り、その魅力に触れる活動をしてきました。その今年度のまちづくり活動を振り返り、個々が感じた南信州の魅力への想いを「恋文」にして伝えるという体験をしました。個人ワークで皆真剣な眼差しで「恋文」を書く姿に南信州に対する強い想いを感じ、また、「恋文」の発表では、恥ずかしさもありませんがやはり思い入れが感じられ

るものばかりでした。

「南信州を語る」語れる程その魅力を知り、興味を持ち、人に伝えたい。伝えられた人もまたその熱意によって興味を持つ。この例会でふるさとの恋は人から人へと伝わるという姿を体験できた事で、魅力を伝える事により「南信州ファン」は確実に増えていくと確信する事が出来ました。

三遠南信交流会

事務局長 久保田 淳子



10月16日、浜松の地にて三遠南信交流会が開催されました。毎年恒例のアトラクションでは、タケノコだけで1億円を稼いだタケノコ王こと風岡直宏氏の講演

「小さな気づきが大きな成長」をお聴きました。度重なる困難を乗り越え、どのように困難をチャンスに転換してきたのか、ユーモアを交えたお話しから、楽しく学びを得ることができました。続いては、事業報告会として各LOMから今年

度の活動報告を行いました。普段触れる機会のない他県のLOMの活動は興味深いものがありました。また、次年度役員紹介も行われました。

会場を移しての交流会では、業種ごとにテーブルが分かれ、工夫された設えにより、他地域の同業種のメンバーと会話も弾みました。地区、ブロックを越えた繋がりはありますが、三遠南信自動車道の開通を見据え、ますます繋がりを深めていけたらと思います。

全国大会 宮崎大会

事務局長 久保田 淳子

10月5日〜7日、第67回全国大会宮崎大会に全卒業生3名を含む9名で参加してまいりました。台風の影響により、式典・卒業式の会場が急きょ屋外から屋内に変更となり、情報が錯綜し大混乱の中、私たち卒業生ですらスクリーンで中継されるサテライト会場に入るのがやっとでした。初めて参加した昨年の全国大会では、卒業生と共に式典の雰囲気味わい、卒業の重みを肌で感じていただけに、非常に残念ではありましたが、何となく全国大会を成功させたいという宮崎JCメンバーの熱意と行動には感謝し

なくてはいいけません。様々な意味で、後に語り継がれる全国大会になったのではないかと思います。

遠方での開催にも関わらず、さらに年度と重なり多忙な中、多くの現役メンバーに、私たちの卒業式をお祝いいただき、卒業旅行にご一緒していただきました。卒業生全員で参加できたこともとても嬉しかったです。思い出に残る全国大会をありがとうございました。



卒業生からのメッセージ



卒業生 田中 真司

「君はJCやった方がいいよ！」と推して下さった言葉のままに、在籍は3年間と短いものでしたが、2年目委員長、3年目卒業生でありながら副理事長兼務の委員長と限りなく充実した日々、まるで強化合宿のような凝縮された時間を駆け抜けさせていただきました。

今思えばポーンスイヤーは言葉どおり。

3者の立場で青年会議所という学び舎を俯瞰しながら活動する時間は、望んでも経験しえない貴重な財産となりました。活動を率先する中で学びを糧と変え、旬な想いを育み言葉に載せて伝えていく。賛否両論を真摯に受け止め、仲間達と地域の発展に繋がる方向性を導き出すとする。これらの姿勢自体そのものを私は青年会議所でなければ得る事ができなかった財産だと感じています。こんな私ではありませんが、言葉に耳を傾け、共に学んでくれた仲間達は、それぞれの学びに向かい自らの価値を高め、今の青年会議所の価値を豊かなものへと成長させてくれると確信しています。最後となりますが、ご指導を賜りました関係各位の諸先輩方、そして私にかけがえない経験を与えて下さいました皆様にご心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生からのメッセージ



卒業生
久保田 淳子

J・C歴は3年ながら、事務局員時代から合わせると約7年半、お世話になりま

した。実際にメンバーとして活動してみると、事務局員の立場からは見えなかった苦勞、メンバーのまちに対する想い、真剣さに触れ、共に活動できる喜びを感じました。

2年目で会員拡大とまちづくり事業の委員長を務めさせていただきました。10議案、6例会：ただただ一つ一つの議案、例会・事業をこなしていくのに必死であの時の苦しさ、後悔を思うと今でも涙が出ます。

ラストイヤーの今年は、ブロック出向の夢も叶えていただき、対外事業も含めほぼ全ての事業に参加し、J・Cライフを満喫しました。身も心も追い詰められ、辞めたいと思ったことが今では嘘のようですが、こうして無事卒業を迎えられるのも、これほど楽しいJ・Cライフを送れたのも、常に自分の周りには支えてくれた先輩や仲間がいだからだと、卒業を前に改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

私はJ・C入会前から他の青年団体でも活動してきましたが、本当の仲間にはなかなか出会えませんでした。J・Cではたくさん仲間ができました。共にこのまちを想い行動する仲間がいること、J・Cで経験させていただいた修練は、今後の私の人生にとって大きな支えになることと思います。3年間ありがとうございました。

卒業生からのメッセージ



卒業生 原 崇

昨年10月に入会してわずか一年二月の活動期間にも関わらず、飯田J・C卒業生として機会を頂き心より感謝申し上げます。入会時は不安と期待が入り混じる状態でしたが、手探り状態ながら委員会、例会、事業など丁寧にやることを心がけました。議案作成に真剣に取り組み委員長、副委員長の姿や、例会準備に気迫が満ち溢れるメンバーの雰囲気背中を押され、これまでにない大きな成長が出来たと思います。2018年度は2委員会で活動させて頂きました。新会員で構成する新力創生委員会で開催した4月例会蒲郡旅行は、全て手作りで作上げ仲間と共に成長することが出来ました。そして、ふるさと南信州委員会でのまちづくり事業は、J・C活動の中で最もワクワクして楽しい時間でした。全ての市町村で今まで知らなかった新しい魅力を発見することが出来、毎日が感動の連続でした。一般参加者も回数を重ねる毎に増え、ご家族で体験された方々の笑顔が忘れられません。また、事業を通して各市町村長様始め、行政の方々、地域おこしに

情熱をお持ちの方々との交流の機会を頂きました。J・Cでなければ体験できない貴重な人生経験と成長をさせて頂き心から感謝申し上げます。

編集後記

2018年度の広報誌『未来』も本号が最終号となりました。発行に関してご協力いただいた方々、1年間ご愛読いただいた皆様に心より感謝申し上げます。本年度の特集は、より深く飯田J・Cについて知り、私たちの仲間になっていただき嬉しかったのと「南信州の未来を楽しく仲間募集!」と題し、メンバーの自己紹介を掲載させていただきました。多種多様なメンバーが所属していること、それぞれがどんな想いでこのまちのために活動しているのかをお伝えできたのではないかと思います。次年度以降も、飯田J・Cの活動へのご理解とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。